

アンテナ位相特性データファイル仕様（案）

1. ファイルの特徴

- ・ファイル名： JSIM_ANT.001
ファイルのデータに変更がある場合でもファイル名は変更しない。バージョンの管理はファイルの第1レコードに含まれるバージョン番号によって行なう。
- ・ファイルの形式： テキストファイル
各レコードの終わりには制御文字 CR と LF が付加される。
- ・レコード長： 可変長
- ・データに使用できる文字： 制御文字を除いた8ビットのASCIIコードのみ
- ・フォーマット： NGSのANT_INFO.003のフォーマット
相違点については後述。

2. レコード構成

ファイルの先頭に1個のファイルヘッダーブロック(11レコード)があり、以降、各アンテナのデータブロック(7レコード)が続く。

3. ファイル中のアンテナの順序

第1キーとしてメーカーコード、第2キーとしてバージョン(登録日)により昇順にソートする。

4. レコードのフォーマット

レコード長は制御文字(2バイト)を含まない。また、フォーマット記述はFORTRANのものである。

1) ファイルヘッダーブロック(11レコード)

第1レコード	
レコード長：80	FORMAT(A5,A13,1X,A8,I5,1X,A12,A8,28X)
<ul style="list-style-type: none"> ・キーワード“FILE=” ・ファイル名“JSIM_ANT.001” ・半角スペース1個 ・キーワード“VERSION=” ・バージョン番号(5桁の数字) ・半角スペース1個 ・キーワード“LAST_UPDATE=” 	

<ul style="list-style-type: none"> ・最終更新年月日 (YY/MM/DD の形式) ・半角スペース 28 個
第 2 レコード
レコード長 : 0 FORMAT()
第 3 レコード
レコード長 : 80 FORMAT(A80)
・コメント
第 4 レコード
レコード長 : 80 FORMAT(A80)
・コメント
第 5 レコード
レコード長 : 77 FORMAT(A77)
・コメント
第 6 レコード
レコード長 : 74 FORMAT(A74)
・コメント
第 7 レコード
レコード長 : 77 FORMAT(A77)
・コメント
第 8 レコード
レコード長 : 77 FORMAT(A80)
・コメント
第 9 レコード
レコード長 : 74 FORMAT(A80)
・コメント
第 10 レコード
レコード長 : 77 FORMAT(A80)
・コメント
第 11 レコード
レコード長 : 0 FORMAT()

2) データブロック(11 レコード)

第 1 レコード
レコード長 : 80 FORMAT(A20,A3,A39,A3,1X,A1,I3,A1,1X,A8)

<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナ名 (アルファベットは大文字に限る。途中に空白を許す) ・メーカーコード (アルファベットは大文字に限る) ・詳細記述 ・検定機関コード (アルファベットは大文字に限る) ・半角スペース 1 個 ・半角開き括弧 1 個 ・検定時のサンプル数 ・半角閉じ括弧 1 個 ・半角スペース 1 個 ・バージョン (YY/MM/DD の形式)
第 2 レコード
レコード長 : 30 FORMAT(3F10.1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ L1 の南北方向のオフセット (mm) 北方向が正 ・ L1 の東西方向のオフセット (mm) 東方向が正 ・ L1 の高さ方向のオフセット (mm) 上方向が正
第 3 レコード
レコード長 : 60 FORMAT(10F6.1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ L1 の PCV: 高度角 90 ° ~ 45 ° (5 ° 毎) の値 (mm)
第 4 レコード
レコード長 : 54 FORMAT(9F6.1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ L1 の PCV: 高度角 40 ° ~ 0 ° (5 ° 毎) の値 (mm)
第 5 レコード
レコード長 : 30 FORMAT(3F10.1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ L2 の南北方向のオフセット (mm) ・ L2 の東西方向のオフセット (mm) ・ L2 の高さ方向のオフセット (mm) <p style="margin-left: 20px;">*1 周波用アンテナの場合はすべての値が 0.0</p>
第 6 レコード
レコード長 : 60 FORMAT(10F6.1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ L2 の PCV: 高度角 90 ° ~ 45 ° (5 ° 毎) の値 (mm) <p style="margin-left: 20px;">*1 周波用アンテナの場合はすべての値が 0.0</p>
第 7 レコード
レコード長 : 54 FORMAT(9F6.1)
<ul style="list-style-type: none"> ・ L2 の PCV: 高度角 40 ° ~ 0 ° (5 ° 毎) の値 (mm) <p style="margin-left: 20px;">*1 周波用アンテナの場合はすべての値が 0.0</p>

5 . NGS のファイルとの相違点

NGS のファイルのフォーマットについては詳細な記述がないため、厳密な意味での比較は出来ないが、外見上から下記のような相違点がある。

1) ファイルヘッダーブロックの第 1 レコード

NGS のファイルの場合は下表のようである。本提供サービスのものとはレコード長および内容が異なる。

第 1 レコード
レコード長 : 70 FORMAT(A22,48X)
・ 文字列 “NGS DOCUMENTATION FILE” ・ 半角スペース 48 個

2) データブロックの第 1 レコード

NGS のファイルの場合は下表のようである。本提供サービスのものにあるメーカーコードがアンテナ名の一部となっており、その 3 バイト分詳細記述が長い。本提供サービスのアンテナ名には NGS のような厳密な規則は無い。

第 1 レコード
レコード長 : 80 FORMAT(A20,A42,A3,1X,A1,I3,A1,1X,A8)
・ アンテナ名 (アルファベットは大文字に限る / 途中で空白を許す 最初の 3 文字はメーカーコード) ・ 詳細記述 ・ 検定機関コード (アルファベットは大文字に限る) ・ 半角スペース 1 個 ・ 半角開き括弧 1 個 ・ 検定時のサンプル数 ・ 半角閉じ括弧 1 個 ・ 半角スペース 1 個 ・ バージョン (YY/MM/DD の形式)